

令和5年度 共通教科「情報」授業力向上研修C（コンピュータとプログラミング） 実施要項

- 1 目的 共通教科「情報」の指導に携わる教員の専門性の向上を図るとともに、これからの時代に生徒に求められる資質・能力を育成するための授業力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の教員

募集人数 30名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	9月22日（金） 14:00～17:00	「コンピュータとプログラミング」の指導方法について 〔講義・演習・協議〕	大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 情報基盤センター 准教授 尾崎 拓郎 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和5年度 共通教科「情報」授業力向上研修C
(コンピュータとプログラミング) シラバス

3473

1 目的

共通教科「情報」の指導に携わる教員の専門性の向上を図るとともに、これからの時代に生徒に求められる資質・能力を育成するための授業力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期			○							○	○	○			
第2期			○							○	○	○			
第1期			○							○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	「コンピュータとプログラミング」の指導方法について	自然現象や社会現象の問題点を発見し、コンピュータやプログラミングを活用し解決策を考えられるようにするための指導方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して情報の科学的な見方・考え方を働かせながら、コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などについて理解できるようにする指導の在り方を学ぶ。 モデル化やシミュレーションの考え方を様々な場面で活用できるようにするために、問題発見や解決に役立て、問題の適切な解決方法を考える力を育成する方法を学ぶ。 アルゴリズムを表現し、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて、情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う方法を学ぶ。 	<p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材 高等学校情報科「情報Ⅱ」教員研修用教材 <p>※タブレット端末等にダウンロードしたものでよい。</p> <p>事前課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践レポート